

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和6年3月末現在では、佐倉市の総人口169,930人に対し志津地区の人口が74,700人となっており、その割合は44.0%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和6年3月末現在】

- | | | | |
|------------|------------------------|-----------|--------------------------|
| ○志津地区：面 積 | 18.52km ² | （佐倉市：面 積 | 103.69km ² ） |
| ○志津地区：住基人口 | 74,700人 | （佐倉市：住基人口 | 169,930人） |
| ○志津地区：人口密度 | 4,033人/km ² | （佐倉市：人口密度 | 1,638人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

○新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、安心して集い学習できる環境を確保していく。

○多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。

○学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。

○学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。

○複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

事業内容

1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

3. 広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

5. 施設の提供

- | | | |
|-------|---------------------------|--------|
| ・開館日時 | ①日・月曜日、祝日 | 9時～17時 |
| | ②火・水・木・金・土曜日 | 9時～21時 |
| | ＊夜間の使用申込がない場合は17時で閉館 | |
| ・休館日 | 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日 | |

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数 (件)	6,888	2,226	5,343	6,373	6,791
利用人数 (人)	85,649	20,144	45,978	63,632	70,208
開館日数 (日)	309	235	333	333	334

令和5年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210会議室	3,652	2,086	57.1%
220会議室	3,652	2,041	55.9%
201会議室	3,652	1,811	49.6%
202会議室	3,652	1,794	49.1%
調理室	3,652	553	15.1%
310会議室	3,652	1,781	48.8%
和室	3,652	915	25.1%
401会議室	3,652	1,848	50.6%
アトリエ	3,652	1,799	49.3%
大会議室A	3,652	2,328	63.7%
大会議室B	3,652	2,553	69.9%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	「今、片づけようと思っただのからの脱出」	成人 20人	7/4 8人	家庭での片づけに悩まされている子育て世代の方に向けての学習機会を提供する講座とする。
青少年教育	佐倉っ子塾共通講座 志津子ども教室	小学生 8/1 午前午後各15人 8/10 20人 12/2 10組 2/17 15人	8/1 28人 8/10 12人 12/2 9人 2/17 8人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/1 勾玉づくり 8/10 エコ織りでコースター作り 12/2 志津地区に伝わる辻ざり作り親子体験 2/17 工作好きな子集まれ！
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ学入門	成人 30人	5月～12月10回 土曜日 開講式 5/20 閉講式 12/16 講座 5/20～12/16	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。
	健康とくらし	成人 30人	5月～12月10回 火曜日 開講式 5/20 閉講式 12/16 講座 5/20～12/16	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び、地域への還元を図る。
	みんなの家政学	成人 30人	5月～12月10回 木曜日 開講式 5/20 閉講式 12/16 講座 5/20～12/16	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学講座 「志津探訪～秋の野草観察～」	成人 10人	9/28 9人	志津地区の自然を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 15人	10/20 13人 10/27 12人 11/2 14人 11/10 14人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 10/20 基礎知識編 10/27 遺跡の紹介 11/2 遺跡の見学 11/10 今後のあり方
	佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 10人	10/25 10人 11/1 9人 11/8 8人 11/15 8人 11/22 9人 11/29 9人	佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や周辺地域の歴史について理解を深めながら郷土への関心を高めていく。 10/25 座学、散策：井野加賀清水 11/1 散策：佐倉市民体育館前～臼井 11/8 散策：臼井～勝田台 11/15 散策：勝田台～薬園台 11/22 散策：薬園台～西船 11/29 散策：西船～江戸川

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	佐倉学講演会 「志津をもっと知ろう」	市内在住・在勤 100人	3/23 85人	志津地区の地名を深く掘り下げて学び、郷土の理解を深める。
	「夏草、秋草の絵を描こう」	小学生以上 (親子等参加可) 10人	9/23 9人	日常に自然と親しむ楽しさを体験し、暮らしに取り入れたい植物や、自然観察の楽しみを学ぶ。
団体育成	志津公民館サークル ふれあいまつり	公民館利用 サークル	10/13～10/15 参加25サークル 来館者 523人	志津公民館で日頃活動しているサークルの発表・展示・活動体験を行う。
	サークル運営研修会	公民館利用 サークル 248団体	3/1 66人	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め地域活動につなげる。
	調理室サークル懇談会	公民館調理室 利用サークル 8団体	3/1 6人	調理室利用サークルの交流と共通理解を深める
	志津地区社会教育関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボランティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	市内主要施設配布 ホームページに掲載	9/15、3/15 各600部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

子育て世代の整理収納の悩みについて学びの講座

「今、片づけようと思ったのにからの脱出」

①開設趣旨 家庭での片づけに悩まれている子育て世代の方に向けての学習機会を提供する講座とする。

②募集対象 (1) 保護者20名

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月 4日(木)	子育て世代の片づけ講座	家庭での片づけに悩まれている子育て世代の方に向けての学習	整理収納研究所代表 桑原 美栄子

④講座を終えて 当講座は「ご家庭の片づけに悩まされている子育て世代のかた」をターゲットに企画した。家庭での整理収納方法を学びつつ、子育て世代の悩みに寄り添うことで子育て世代を応援し、かつ「家庭と子どもたち」の思いをつなぐ役割を担うものとして考えたものである。

・応募者が30代から50代までと幅広い中で、3名1組でグループワークを行った。まずは「整理」「収納」「片付け」「整頓」について、それぞれの違いを明確にするところから始めた(意味合いについては下記のとおり)。

- ・「整理」必要・不必要なものを区別して、不必要なものを取り除く
- ・「収納」使う場所に使いやすくしまう
- ・「片付け」元の位置に戻すこと
- ・「整頓」見た目良く整えること

・このとおり、同じと思っていたものが全く違うことが理解できる。今回は「片付け」を中心に行った。

・事前に講師の用意した画像を提示すると「収納」「片付け」前後の違いがよくわかる。

・そのうえで、まず物を減らすために『今』使っているか使っていないかを判断基準として、レジメを使って個人で必要・不要に仕分けた。

・必要・不要に分けた後は、必要な物をどう分けていくかをグループで討議した。具体的には物の色で視覚に訴えるという方法が取られた。

物を目の前に具体的に考えていくことで気づきを得る、という手法はただ言葉で語るよりもわかりやすい。

・子どもと暮らしつつ、今回の知識を家庭で役立ててほしいと思う。

・今回のように公民館側から伝えたい座学の講座と、対象者が参加したい講座に乖離があることは感じているが、すり合わせていくことが今後の課題と思われる。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

①開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

②募集対象 小学生

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 1日(火)	勾玉づくり	本物の縄文土器に触れ、実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育振興部文化財課 西村 壇
2	8月10日(木)	エコ織りでコースター作り	古布からコースターを作る	千葉県地球温暖化防止活動推進委員 廣田 由紀恵
3	12月 2日(土)	佐倉っ子塾 志津地区に伝わる辻ぎり作り親子体験	佐倉の地域素材を織り交ぜながら、辻ぎり体験を行う	志津歴史同好会
4	2月17日(土)	工作好きな子集まれ!	段ボール、ダンボール、折り紙、毛糸などの材料を使って工作する。	ボランティア 黒田 芳子 他

④講座を終えて 佐倉市公式ホームページ、佐倉市公式LINEでの募集を行った。子ども教室では工作が好きな傾向があり、子どもたちが楽しめる企画として、夏の工作教室は、2種類の工作講座を行った。自分で作った勾玉、コースターの作品は、子供たちが持ち帰って自慢できるようなものを作った。夏休みの思い出の品にもなり、これらの工作教室は、大変盛り上がっていた。冬の工作教室は、ワラで作る志津地区に伝わる辻ぎり作りとダンボールや折紙、毛糸など身近な材料を工夫して作る工作教室を行った。辻ぎり作りは、工作の面だけでなく、郷土の歴史を体験する側面もあり、志津地区の歴史を学ぶ方の協力を得て実施する方向性で進めている。工作好きな子集まれ講座では、事業に協力していただけるボランティアスタッフとして地域の方が子どもたちに工作を教えた。ボランティアスタッフの協力してもらうことで、子どもたちにより良い体験を提供していきたい。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第34期）

- ①開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

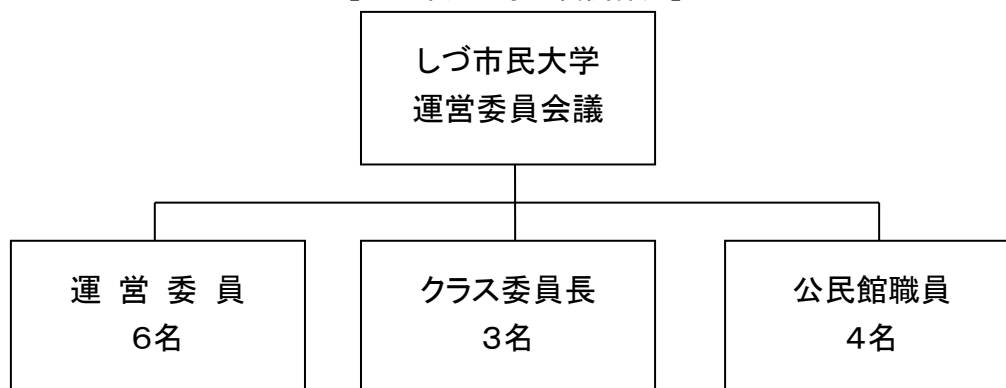
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進
(個人的な参加型の学習から地域への展開)

(2) 生涯学習を進めるまちづくり
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



②募集対象、募集人員

- | | | |
|----------|----|-----|
| ・しづ学入門 | 成人 | 30人 |
| ・健康とくらし | 成人 | 30人 |
| ・みんなの家政学 | 成人 | 30人 |

③学習目標

- ・しづ学入門 志津地域や佐倉の歴史・文化・自然等について学習する。自らの学び経験を通して地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目指す。
- ・健康とくらし 生活様式が変化する中で心身の健康保持と増進を図り、地域の一人ひとりが自らの生活を見直すことで、心身ともに豊かで充実した人生を送ることを目的とし、「健康的な暮らし」「健やかな日々」を実現するための様々な情報を学ぶことにより、地域への還元を目指す。
- ・みんなの家政学 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。

④プログラム

しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月20日(土) 9:15～12:00	開講式 記念講演「市民大学と地域づくり」 【志津公民館 大会議室AB】		元佐倉市職員 石井 肇
2	6月 3日(土) 9:30～12:30	1年間を充実した時間にするための仲間 づくり ホームルーム 【志津公民館 大会議室A 】		日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	7月1日(土) 9:30～12:00	志津の話—いまむかし— 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市史編さん委員 内田 儀久
4	8月5日(土) 9:30～12:00	印旛沼の変遷 湖沼の生態系 【志津公民館 大会議室A】		千葉県内水面水産研 究所 職員
5	8月19日(土) 9:30～12:00	絵図から見る志津地区のあゆみ 【志津公民館 大会議室A 】		酒々井町文化財審議 会 高橋 健一
6	9月16日(土) 10:00～12:00	絵図から見る佐倉城下町 【志津公民館 大会議室A 】		國學院大學准教授 川名 禎
7	11月25日(土) 9:30～12:00	井野長割遺跡について学ぶ 【志津公民館 大会議室A 】		佐倉市教育委員会 文化課
8	12月2日(土) 9:30～12:00	志津地区散策 【志津北部地域現地集合 】		NPO法人佐倉一里塚 ガイドボランティア
9	12月9日(土) 9:30～12:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活 【志津公民館 大会議室A 】		佐倉市史編さん委員 中澤 恵子
10	12月16日(土) 9:30～13:00	人と出会い、地域でつながる地域食堂の活動を通して見 えたもの 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】		地域食堂ひだまりの たね 代表 唯 愛

しづ市民大学 「健康とくらし」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月20日(土) 9:15～12:00	開講式 市民大学と地域づくり 【志津公民館 大会議室AB】		元佐倉市職員 石井 肇
2	6月 6日(火) 9:30～12:30	1年間を充実した時間にするための仲間 づくり ホームルーム 【志津公民館 大会議室A】		日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月27日(火) 9:30～12:00	アンガーマネジメントを身に着ける 【志津公民館 大会議室A】		成田富里徳洲会病院 公 認心理士/臨床・学校心理 士 鈴木みのり
4	7月11日(火) 9:30～12:00	「ボッチャ」に挑戦 【志津公民館 大会議室AB】		元佐倉市職員 斉藤 英晴
5	7月25日(火) 9:30～12:00	口から始まる健康習慣、健康体操 他 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市健康推進課 職員
6	8月8日(火) 9:30～12:00	避難所運営ゲーム 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市危機管理課 職 員
7	9月26日(火) 9:30～12:00	過去の災害から学ぶ 【志津公民館 大会議室A】		日本赤十字社千葉県 支部 職員
8	10月24日(火) 9:30～12:00	放っておくと怖い高血圧 【志津公民館 大会議室A】		成田富里徳洲会病院 管理栄養士 生駒 真理子
9	11月14日(火) 9:30～12:00	より自然な睡眠が得られるコツ 【志津公民館 大会議室A】		成田赤十字病院 第一 精神神経科部長 齋賀 孝久
10	12月16日(土) 9:30～13:00	人と出会い、地域でつながる地域食堂の活動を通して見 えたもの 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】		地域食堂ひだまりの たね 代表 唯 愛

しづ市民大学 「 みんなの家政学 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月20日(土) 9:15～12:00	開講式 記念講演「市民大学と地域づくり」 【志津公民館 大会議室AB】		元佐倉市職員 石井 肇
2	6月 8日(木) 9:30～12:30	レクリエーション活動を通して仲間 づくり 【志津公民館 大会議室A 】		日本レクリエーショ ン協会 田端 知恵子
3	6月22日(木) 9:30～12:00	年齢に応じた食事術 【志津公民館 大会議室AB】		栄養士 六崎 美知代
4	7月13日(木) 9:30～12:00	調理器具と食事を彩るテーブルウェア活用 【志津公民館 大会議室A 】		習志野調理師専門学 校 校長 山崎 憲
5	8月 3日(木) 9:30～12:00	食中毒を予防しよう 【志津公民館 調理室、201.202】		印旛保健所 職員
6	8月31日(木) 10:00～12:00	今日から私も洗濯博士 【志津公民館 大会議室A 】		和洋女子大学 服飾造形学科助教 桑原 里実
7	9月14日(木) 9:30～12:00	セカンドライフの整理収納 【志津公民館 大会議室A 】		整理収納研究所 代表 桑原 美栄子
8	11月 9日(木) 9:30～12:00	地域と家庭での防災を考えよう 【志津公民館 大会議室A 】		佐倉市危機管理課 職員
9	11月16日(木) 9:30～12:00	わたしと家族の「そうぞく」 【志津公民館 大会議室A 】		明治安田生命保険相 互会社 派遣講師
10	12月16日(土) 9:30～13:00	人と出会い、地域でつながる地域食堂の活動を通して見 えたもの 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】		地域食堂ひだまりの たね 代表 唯 愛

⑤講座を終えて 「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。

通年ほぼ座学のしづ学入門コースであるが、その中でも、唯一の外の学習である11月11日の志津北部地区の散策は受講生が楽しみにしていた講義である。昨年は、熱中症の危険があることから屋外での散策を中止したが、今年度は天気にも恵まれ実施することができた。また、10回の講義では少ないとの意見もあり、来年度は講座が2回増えることから講座内容を充実させたい。

「健康とくらし」 自分らしく健康で、豊かな生活を送るためのきっかけづくりとするため、学びをとおしてこころとからだの健康を保つことを目的に学習した。本講座は、日々の暮らしの中で関心の深いテーマが主体となっており、健康にまつわる講義や体操の実技においては熱心に聴く姿が見られた。全体を通して、レクリエーションやワークショップが多い講座となるが、来年度においても学ぶ楽しみと活動するよるこびが感じられる学習の場に応えられるよう計画していきたい。

「みんなの家政学」 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家計の管理など、多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを目的に学習した。さまざまな情報が簡単に手に入る世の中だからこそ、正しく役立つものを見極める力を養うことが大切だということが理解できたとの感想が多かった。

佐倉学講演会「志津をもっと知ろう」

①開設趣旨 本講座は「志津の歴史について学んでみたい」という方々を対象に「佐倉学」の普及を図りながら郷土愛を育み、郷土の関心を高め、郷土の創生に繋げることを目的とする。

②募集対象 成人 100名

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月23日(木)	志津地区の地名のいわれを深く掘り下げて学び、郷土の理解を深める	佐倉地名研究会 田中 征志

④講座を終えて 今回は、長らく佐倉市全域の地名を元に歴史を研究されている「佐倉地名研究会」の田中征志氏を講師にお招きした。

昨年上梓された同会の会誌では臼井・志津地区を取り扱っていたこともあり、そこから志津地区の地名に絞って講義をしていただいた。

「地名は土地の特徴と歴史を含んだ文化であり、大字小字にはそこに暮らす人々の『思い』『願い』が詰まっている」とは同会の弁であるが、本講義でもレジュメとパワーポイントで地図の画像を併用しながら、その地名である由来を、あるいは志津地区のあらましを、現在の志津地区や志津村の頃または旧石器時代までさかのぼり土地の歴史を説いた。

アンケートでは「やや満足」の声が多く、「満足」が少なかった。これは講義の内容よりも、予定時間より30分超過したことがこの評価につながったようである

講義時間の超過は講師との綿密な打ち合わせを行えば回避できたものであった。時間の配分が見合っているかを漫然と講師任せにした結果、内容の良さを削いでしまったことは反省し、次回以降の課題としたい。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」

①開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象 成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月20日(金)	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 小倉 和重
2	10月27日(金)	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	11月 2日(金)	遺跡探訪し知識を深める (現地見学)	文化課職員 小倉 和重
4	11月10日(金)	遺跡の今後について	文化課職員 松田 富美子

④講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

アンケートでは、当時の人々の生活状況を思いおこし感銘を受けた、どのような「心」をもって生活していたのか強く感じた、などの感想があった。参加者全員が講座内容に満足という結果を得た。

佐倉学入門講座 佐倉道を歩く

①開設趣旨 佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。

また、佐倉城址から江戸川までを周辺の史跡も含めて全5回に分けて学び、地域で活躍できる人材を育成する。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月25日(水)	佐倉道を歩く(序論)	佐倉道を歩く会
2	11月 1日(水)	【1区】京成佐倉駅～臼井駅	
3	11月 8日(水)	【2区】臼井駅～勝田台駅	
4	11月15日(水)	【3区】勝田台駅～薬円台駅	
5	11月22日(水)	【4区】薬円台駅～京成西船駅	
6	11月29日(水)	【5区】京成西船駅～江戸川駅	

④講座を終えて 佐倉道に関して街道の史跡についての座学と散策として実施した。初回は、「佐倉道に関しての総論」として佐倉道の全体像等の講義を行い、2回目以降は座学で学んだ場所を実際に散策した。散策は現地集合、現地解散の形をとり、街道沿いの史跡散策を実施した。散策は受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。今回の実施は、平成30年度の受講生が講師として実施する3回目の講座であり、座学から散策までの講座終了まで、内容・時間管理ともに創意工夫され、受講者から概ね好評な結果であった。回数を重ねるごとに歴史散策の楽しさを発見できたと感想をもらい、佐倉を知ることのできる佐倉学講座としての目的も達成できたのではないかと考える。

佐倉学講座 志津探訪～秋の野草観察～

①開設趣旨 志津地区の自然を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月28日(木)	佐倉里山自然公園の野草・樹木を観察する	千葉県自然観察指導員・佐倉野草会会長 近藤 維久子

④講座を終えて 本講座は、自然を身近に感じることで人も自然の中に生かされている存在であり、すべての生命が自然の恩恵を受けながら共生して存在していることを学ぶ講座である。志津地区には、豊かな自然を親しむ佐倉里山自然公園がある。今後も佐倉里山自然公園の植物の生長を間近でみる体験を通して、植物への興味や関心を持つ機会を提供していきたい。

夏草、秋草の絵を描こう

①開設趣旨 季節の野草を絵に描く体験を楽しみ、植物や自然観察の楽しみ方を学ぶ。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月23日(土)	水彩画で夏草、秋草の絵を描くワークショップ	イラストレーター・園芸家 大野 八生

④講座を終えて 小学生以上を対象として募集した。小学生から高齢者まで一緒に絵を描いて楽しめる講座が提供できた。講座中は、同じ机になった参加者が互いに絵の描き方を見たり、感想を伝えたりして、ほのぼのとした雰囲気の中で交流も図れ、学びあうことができた。参加者には、事前に準備した道具（拡大鏡・写真立てをフレームにして、自分が選んだ草をよく観察し描いていた。参加者アンケートでは、夢中になって描いたことが楽しいなど日常生活の中で植物に触れ合う楽しさと自分時間を楽しむことができることに気づいたことに満足していたことがわかった。

4. 団体育成事業

サークル運営研修会

- ①開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 令和5年度に利用実績のある志津公民館利用サークル
(概ね2ヶ月に1回程度利用した248サークル)
- ③学習内容
 - ・志津公民館の使用について
 - ・サークル活動のPR方法について
(サークル掲示板・会員募集ポスター等の活用等)
 - ・その他
- ④今後に向けて 各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し、年1回程度実施している。
今回は公民館の施設・設備・使用方法を再確認したあと、活動を続けていくためにいかに会員を募集するか、方法として掲示板等の活用を説明した。
また、以前より「隣室の音楽の音で、サークル活動に支障がある」と意見のあった201・202会議室について、音を扱うサークルについてはなるべく他の会議室での活動を検討してほしいとお願いした。
多くの住民が集う公民館ゆえに、利用者と利用者の連携を図っていく必要がある。お互いに配慮しつつ、気持ちよく活動を行ってほしい。

調理室利用サークル懇談会

- ①開設趣旨 志津公民館を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 令和5年度に調理室利用実績のある志津公民館利用サークル
(概ね2ヶ月に1回程度利用した8サークル)
- ③学習内容
 - ・懇談会
 - ・清掃作業
 - ・質疑応答
- ④今後に向けて 新型コロナウイルスもある程度収束したが、調理室の利用サークル数はコロナ禍以前の水準には回復していない。令和元年度には、調理室利用サークルが多く半々に分けて年2回行っていた当懇談会も、令和5年度は年1回6サークル6名での開催となった。この人数では清掃作業が難しいため、この日は備品や調理用具をどう片づけるかを再点検する機会とした。
質疑応答では衛生面や掃除用品の確認、調理器具の買い替え要望等や、サークル同士の意見交換も活発に行われ、少人数ながらもより良い調理室運営の手ごたえを感じさせるものとなった。
次年度懇談会はさらに対象サークルが増えることも考えられ、今年度以上に様々な意見が出るものと思われるが、これからも利用サークルとともに調理室運営に取り組んでいきたい。

志津地区社会教育関係団体への援助

①概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。

②加入団体 単位子ども会 8団体

③活動内容

- ・活動支援相談
- ・連絡調整

公民館園芸ボランティアへの支援

①概要 令和3年度末で志津園芸サークル「花の輪」が卒業し、令和4年度からは個人ボランティア8名が活動を行っている。通年、敷地内の花壇等の手入れをお願いし、公民館はそれらにおける園芸活動の支援をしている。

②主な活動

- ・公民館敷地内の花壇の手入れ
- ・花についての自主学習

5. 広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

- ①ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ②発行回数 年2回（9月・3月）
- ③発行部数 9月・3月：各回600部
- ④配布方法 市内公民館、図書館及び志津コミュニティーセンターに配架
- ⑤内容

第254号 (令和5年9月15日)	第255号 (令和6年3月15日)
●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ※申込方法 往復はがき ●お知らせ ・サークルふれあいまつり	●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき

- ⑥今後に向けて 市内公共施設への配架、ホームページ掲載だけでは、年齢層によっては情報が行き届かない懸念もある。内容の充実を図り、手に取ってもらえる紙面を作り、配架を含めてより有効な方法を考える。